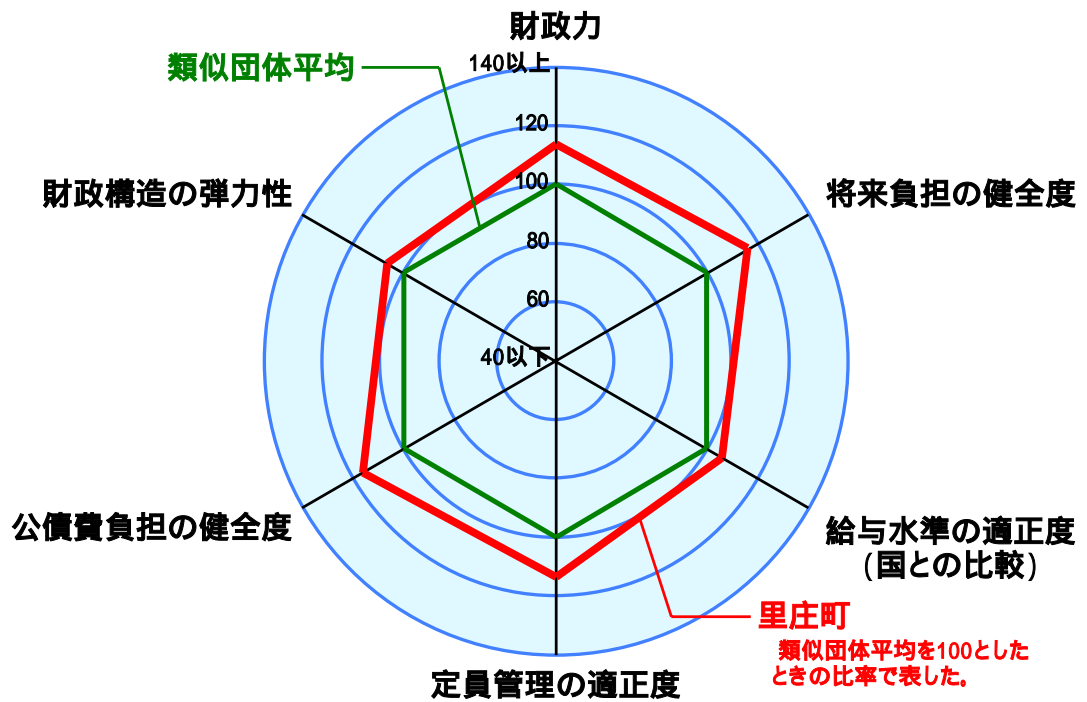
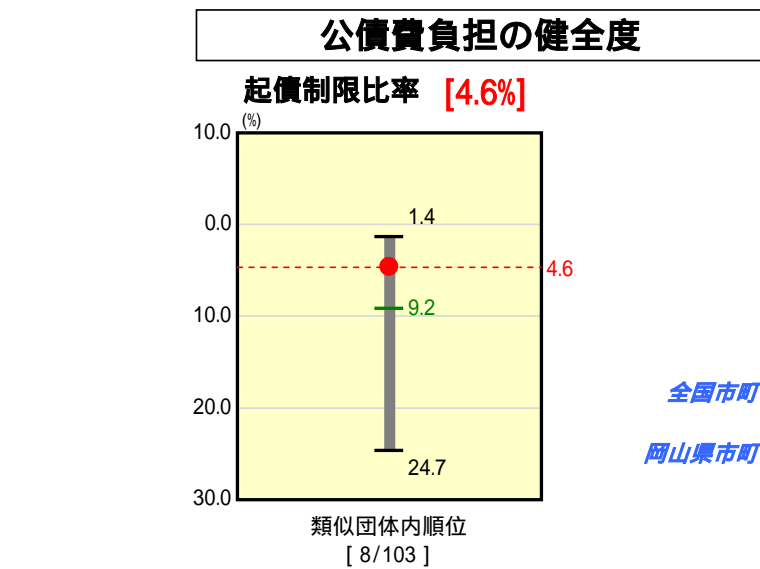
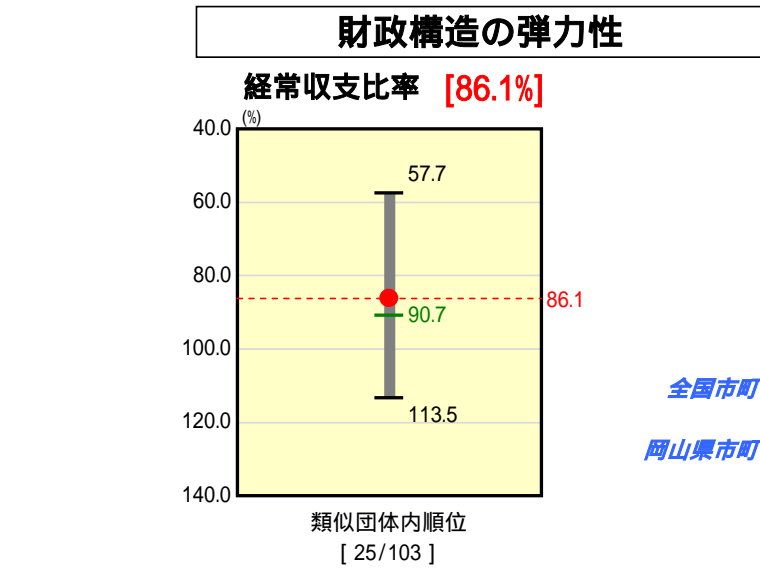
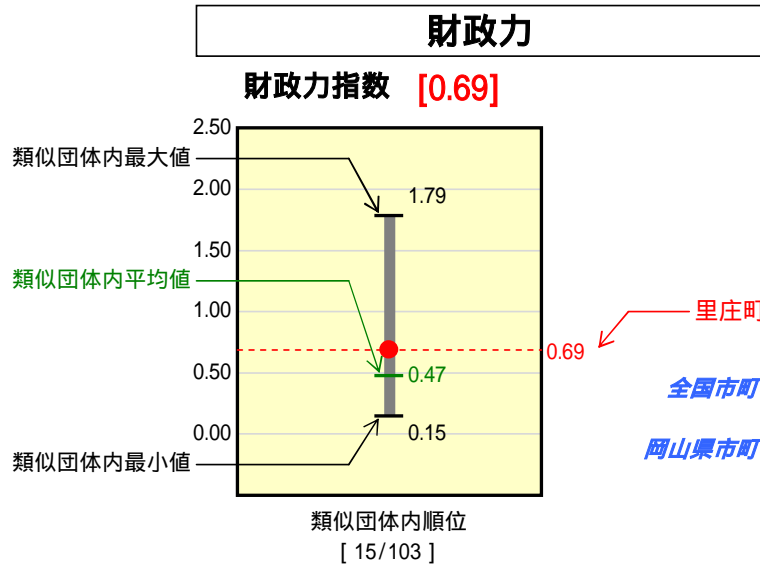


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

岡山県 里庄町

人口	11,047人(H17.3.31現在)
面積	12.23 km ²
歳入総額	4,047,539千円
歳出総額	3,692,790千円
実質収支	327,045千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

財政力指数
町税は歳入の33.1%(平成16年度決算)を占めているため、類似団体平均を上回る0.69となっているが、その算定に使用された基準財政需要額は年々削減されており、それに合わせた行政の効率化に努めることで財政の健全化を図る。

経常収支比率
平成15年度と比較すると3.9%悪化している。その要因としては経常的経費は前年より減額(104,940千円)となったが、経常一般財源のうち交付税(173,599千円)と臨時財政対策債(104,000千円)の大幅な減額によるものである。対策としては事務事業の見直しなど経費の節減に努める。

起債制限比率
類似団体の水準を下回る4.6%となっているが、町の主要施策である町道新設改良事業や総合運動公園整備事業の元金償還の本格化が控えているため、主要施策以外の起債事業の見直しを行い、起債の依存することのない財政運営に努める。

地方債現在高
図書館や文化ホールの償還は終了したが、町道新設改良事業、総合運動公園整備事業などの大規模事業は進行中であり、その他の事業に係る新規発行債の抑制を行い、引き続き財政の健全化に努める。

ラスパイレス指数
第8次定員モデルを下回っており、かつ昇格に関し国より低い基準で行っているため、低い数値となっている。今後とも事務事業の見直しで効率化を図ることにより維持を図る。

職員数
第8次定員モデルを下回っており、適正な数値と言える。平成16年度は職員の不補充を行い、また平成17年度は機構改革を行い人件費抑制に努めたところであるが、更なる業務の見直しを図り不要な事業の統廃合を進め、歳出の削減と職員不補充の徹底を図る。

